

親子のためのWEBページ!
まなぶん
 パソコン・スマホから 道新 まなぶん

ジュニア道スポ

第30号
 毎月第2、4木曜日発行

北嶺

東日本中学生
 ラグビー道予選
 9、10日、札幌
 月寒ラグビー場

道内4校が出場。1回戦で6連覇を狙う函ラサールを下した北嶺(札幌)が、決勝でも立命館慶祥(江別)をノートライに封じ込み71-0と圧勝、6年ぶりに全道王者に返り咲いた。北嶺は宮城県釜石市で行われる北海道・東北代表決定戦(10月14、15日)に出場、勝てば東京・秩父宮で行われる東日本大会準決勝に駒を進める。



全道チャンピオンに輝いた北嶺。打倒秋田勢を旗印に、一枚岩となって東日本出場を目指す

目指せ道勢初の東日本出場

完封V 6年ぶり

東日本出場には、秋田勢の高い壁がある。北海道・東北代表決定戦で道勢はいまだ未勝利。下沼監督は「(秋田勢は)一つ一つのプレーが重い。パス、ハンドリングなどの精度も高い」と分析する。「課題も多く見つかり、次の大会へ修正したい。チームの組織力をアップする必要がある」と青木主将。北嶺がチーム一丸で打倒・秋田に挑む。

力強いラグビーがさく裂した。北嶺が1回戦で5連覇中の函ラサールを下すと、決勝は立命館慶祥をノートライに封じた。7月の夏季大会でも両チームに勝っており、揺るぎない自信をそのままスコアに直結させた。

決勝前のアップも普段通りだった。「みんな声も出て気分も上がり、いい試合モードだった」。1府82、75歳のFW青木佑磨主将(3年)率いる北嶺が立命館に襲い掛かる。「失点ゼロが目標でした」と青木主将。前半2分ごろ、敵陣右ゴールライン付近のラックから、誰もいない空いたスペースを狙い、FW多田悠人(3年)が「いける」と右に飛び込み、先制トライ。相手に押し込まれる場面もあったが、前半を4トライ2ゴールの24-0で折り返す。後半も攻め立て7トライ6ゴール。トータル71-0の大勝だった。

猛攻11トライ8ゴールで圧勝

チーム力強化で打倒・秋田勢だ